長田中だより

令和８年６月２日
第３号
校長　藤田　明子

６月１３日（土）１４日（日）
諫早市中学校総合体育大会

★引き渡し訓練　5月26日（火）

保護者の皆様の御協力のもと、「引き渡し訓練」を行うことができました。心からお礼申し上げます。

私たちが住む地域は、様々な自然災害の可能性や不慮の事故や事件が起こりえます。このような訓練を小学校とともに実施することは、大変有意義なことです。

是非ご家庭で、災害の時の対応をご家族で話し合い、いざというときに備えていただきたいと思います。

受付の様子





待っている様子

★生徒総会開催（5 月 28 日）

生徒会役員のみなさんは、この日のために何か月も準備をしてきたことでしょう。役員だけではなく、生徒一人一人が、長田中学校を、よりよくするために考えを出し合ってくれました。

まさに、生徒一人一人が主役でした。





★第１回ワールドカフェ（総合的な学習の時間）

～諫早市教育委員会指定研究授業

本校の教職員の協力のもと、ゲストティーチャーを８名お呼びして、ワールドカフェ（対話座談会）を開催しました。

働く大人・地域の方と触れ合い、自分のよさや可能性を見つける。仲間と意見を交わし、自分や地域の未来を語り合うことができる。性別も関係なく、大人も子どもも、健康な人も病を抱えている人も、外国籍の人も、違いをこえて生きやすい社会を創る。そういう目的のもと、研究活動を行っていきます。保護者の皆様も数名参観くださいました。

＿テストティーチャーの皆様からは、次のような感想をいただきました。

〇生徒さんたちからは、こちらがいろいろな気付きをいただきます。とても居心地が良かったです。

〇子供たちの生き生きとした姿、かわいい笑顔、何より初めてやることに興味を持たれている先生方の姿にとても感激しました。

〇子供たちが本当にかわいい。素直で明るくて。

〇参加して本当によかったです。

テストティーチャー様

・池田さん（stAryfilm）・川原さん（たまねぎ部会長）・金谷さん（宅島建設）・杉谷さん（杉谷本舗）・永田さん（ジャージーファーム）・野口さん（ジブラルタ生命）・花房さん（花の森整骨院）・HIKARU さん（株 BRISEA）






【ワールドカフェの様子】

★紙と本

長崎新聞５月15日付「水や空」に気になる文章がありました。ご紹介します。

谷川俊太郎さんに「ほん」という詩がある。『ほんはほんとうは/しろいかみのままでいたかった/もっとほんとうのことをいうと/みどりのはのしげるきのままでいたかった』

活字離れが進み、読書はスマホやタブレット端末で、という今の風潮を思えば、紙のまま、木のままでいたかったという「ほん」の嘆きもわからなくはない。

世界に先駆けて教育現場にパソコンやタブレット端末を取り入れてきた北欧のスウェーデンで、紙の教科書を復活させる動きがある、と昨日の記事が伝えている。紙の本への回帰という時代の逆を行く取組に目が留まる。

～中略～

スウェーデン政府は学識経験者に意見を求め、集中力を養うには「紙」が有効と結論付けたという。立ち止まり、場合によっては引き返す。日本を含め世界の教育現場でデジタル化が進むが、引き返す勇気が試される時がくるかもしれな

＊長田中学校 ４月１日～５月19日まで 本の貸出冊数

１年生	231冊
２年生	62冊
３年生	135冊

○～図書支援員の岩永先生の言葉～

本を読むということ、思いのほか重く感じている人もいるかもしれません。

皆さん忙しい毎日の中、本を読む時間を創ることは大変かもしれません。でも、やっぱり本は読んでほしいです。詩集でも謎解きでも、料理の作り方でも、絵本でも、本を読むことにきまりはありません。まずは、本を見てみるからはじめてはどうでしょうか。図書室で待っています。!(^^)!

体育祭前で、どの生徒も大変忙しかったはず。それにしても、１年生の２３１冊は圧巻です。

本を読むことは、<u>言葉や知識やその概念（考え方や世界観）のシャワーを浴びている</u>のと同じだと私は考えます。かたいことは言わずに、ただ本を楽しむことも大いに結構。

大人というより、若いうちに、まだ考え方や頭もやわらかいうちに、多くのことに触れてほしい。しかし限界はあります。その時、本は間接体験をさせてくれます。『ハリーポッターシリーズ』を読んでいると、そこにハリーやハーマイオニーは存在しないのに、あたかもすぐそばに存在したかのように感じる。言葉の力とは不思議です。その世界にどっぷり入り込んでしまうような、独特の体験を若いうちに是非味わってほしいのです。